

## 第1部

### 第1章 育ちや学びがつながる・深まる接続期カリキュラム



## 1 接続期カリキュラムの必要性

子どもは、生まれた時から日々育ちを重ね、家庭から幼稚園や保育所、認定こども園へ、そして小学校へ、さらに中学校、高等学校、大学、社会へとつながっていきます。一人一人の子どもの健やかな成長を、子どもの教育・保育に関わっている全ての者が願っています。

子どもの成長にとって幼児期は、心情、意欲・態度、基本的な生活習慣など、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。また、生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通して、豊かな感性を養うとともに、学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探求心、社会性を涵養し、人間として、社会の一員として、よりよく生きるための基礎を体全体で吸収し、成長していく時期でもあります。

望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う幼児期の教育を充実させることは、一人一人がもつ無限の可能性の芽を伸ばすことにつながり、子どものこれからの人生を大きく左右すると言っても過言ではありません。

平成30年4月から施行される「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「幼稚園教育要領」及び「保育所保育指針」にも、幼児期の教育・保育が、その後の小学校教育の生活や学習の基盤となるということ、そして幼児教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、幼児期の教育・保育と小学校教育との円滑な接続が求められています。また、平成29年3月に公示された「小学校学習指導要領」においても、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続の重要性が示されました。

円滑な接続は、互いの保育・教育を相互理解し、子どもの発達をしっかりと理解することから始まります。日常の保育や授業の中で、教職員は、子どもの具体的な姿を通して支援の言葉を考えたり、活動や授業を創造したりしていきます。その時、子どもの発達の特性と、それに基づいた育てたい子どもの姿をしっかりと捉えておくことが、連続性・一貫性をもった育ちと学びを支えていきます。

接続期カリキュラムは、このような考え方に立ち、子どもの育ちと学びを円滑に接続していくための具体的な保育や教育を示したものです。接続期のカリキュラムを整えることで、円滑な接続を促す保育や授業づくりが明確になり、健やかな子どもの育ちを支えることができます。

接続期カリキュラムの必要性はここにあります。

今、目の前の子どもたちが、これまでどのように育ってきたのか、また、これからどのように育っていくのかを教職員がしっかりと理解し、円滑に接続できるような環境を整えることは、一人一人の子どもの成長を支え、伸ばす大きな支援となるのです。



## 2 接続期カリキュラムの考え方

接続期カリキュラムは、幼児期の教育・保育から小学校教育への円滑な接続を図るものであり、幼児期の学びを小学校の学びにつなげるためのカリキュラムです。岐阜県では、5歳児4月から小学校入学期までを接続期とします。接続期カリキュラムは、幼児期における接続期カリキュラムと小学校入学期における接続期カリキュラム（「スタートカリキュラム」）から構成され、幼保小を貫く三つの視点（「自ら学ぶ力」、「人と関わる力」、「生活する力」）を基に発達と学びの連続性を明らかにしたものです。

一人の子どもの成長と学びは、途切れることなくつながっています。幼児期の子どもは、遊びや生活の中で、感性を働かせてよさや美しさを感じ取ったり、不思議さに気付いたり、できるようになったことなどを使いながら、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることを通して、総合的に学んでいきます。幼児は、遊びの楽しさを体いっぱいを感じながら、試行錯誤し、仲間と協同し、工夫する楽しさを見いだし、いきます。例えば、水道から樋をつないで水を流そうとして、水がこぼれない仕組みを幼児同士で何度も試したりすることや、お店屋さんを開こうと、紙やテープ、毛糸などの素材を生かして色や形を工夫して食べ物を作ったりすることなど、幼児の姿の中に小学校以降の学習の基盤は確実にあります。こうした学びを、小学校の生活科を中心とした学習において発揮できるようにし、児童の思いや願いをきっかけとして始まる学びが自然に他教科等の学習へとつながっていくようにすることが、幼児期における遊びを中心とした総合的な学びから教科等における学習に円滑に移行するということです。

つまり、教員（保育者）は、「幼児期の教育と小学校教育の接続を考えること」を通して、「子どもたちが連続的に学び育っていく存在であること」や「幼児期の学びや育ちを引き出し伸ばすことが大切であること」を理解し、幼児期の教育・保育と小学校教育のよさを取り入れ合い、長期的な視野をもった指導・援助を行うことが重要です。

### 接続期カリキュラム

幼児期

小学校入学期（「スタートカリキュラム」）

